

## 様式C-21 【作成上の注意】

この報告書は、研究成果報告書（様式C-19）を所定の期日内に提出できない場合に作成すること。なお、本様式を提出する時点では、研究成果報告書（様式C-19）は、文部科学省に提出しないこと。

- (1) 「**標題**」  
年度の記入に当たっては、補助金が交付された期間の最終年度を記入すること。
- (2) 「**機関番号**」及び「**研究機関名**」  
研究代表者の所属する研究機関の機関番号（5桁）及び研究機関名を記入すること。
- (3) 「**研究種目名**」  
特別推進研究、特定領域研究等の研究種目名を記入すること。
- (4) 「**研究期間**」  
補助金が交付された期間（年度）を記入すること。
- (5) 「**課題番号**」  
科学研究費補助金の交付決定一覧に記載された課題番号（8桁）を記入すること。
- (6) 「**研究課題名**」  
交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。
- (7) 「**研究代表者**」
  - ア 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者1人を記入すること。
  - イ 研究者番号  
府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている8桁の番号（科学研究費補助金研究者名簿に登録されている8桁の番号）を記入すること。
  - ウ 氏名（所属部局・職名）  
姓と名の間は、カンマ（,）で区切る。また、部局名（略称可）、職名を記入すること。
- (8) 「**交付決定額**」  
交付決定額をそれぞれ記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。
- (9) 「**研究経過**」  
この研究によって最終年度までに得られた新たな知見等の成果を、簡潔に箇条書きにするとともに、今後の研究の展開、見通し等についても記載すること。
- (10) 「**研究成果報告書を所定の期日内に提出できない理由**」  
研究成果報告書として取りまとめられない理由、研究成果の公表を一定期間差し控える理由など、所定の期日内に提出できない理由を具体的に記入すること。
- (11) 「**研究成果の提出時期（予定）**」  
研究成果の提出予定時期を記入すること。  
なお、提出が可能となった時点（原則として次年度中（1年以内））で、すみやかに「研究成果報告書」（様式C-19）を文部科学省に提出すること。
- (12) 「**その他**」  
この報告書は、原則として1枚で作成すること。

## 様式C-23 【作成上の注意】

この報告書は、研究成果報告書（冊子体）（様式C-18）及び成果公開報告書（様式C-19）を所定の期日内に提出できない場合に特定領域研究の領域代表者（総括班研究代表者）が作成すること。

(1) 「機関番号」及び「研究機関名」

研究代表者の所属する研究機関の機関番号（5桁）及び研究機関名を記入すること。

(2) 「領域番号」

領域番号（3ケタ）を記入すること。

(3) 「研究期間」

補助金が交付された領域の設定期間（年度）を記入すること。

(4) 「領域名」

領域名を記入すること。

(5) 「研究代表者」

ア 領域代表者（総括班研究代表者）1人を記入すること。

イ 研究者番号

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている8桁の番号（科学研究費補助金研究者名簿に登録されている8桁の番号）を記入すること。

ウ 氏名（所属部局・職名）及び所属研究機関

姓と名の間は、カンマ(,)で区切る。また、所属研究機関・部局名（略称可）、職名を記入すること。

(6) 「交付決定額」

当該研究領域全体の交付決定額をそれぞれ記入すること。

(7) 「研究成果報告書として取りまとめられない理由」

具体的に記入すること。

(8) 「研究成果の提出時期（予定）」

研究成果の提出の予定時期を記入すること。

なお、原則として次年度中（1年以内）に提出すること。

(9) 「その他」

この報告書は、原則として1枚で作成すること。